

OB会 だよ

各地の四季
シリーズ・No.6



四季折々 豊かな表情があふれる 長瀬

豊かな自然と四季折々の景色を求めて毎年多くの観光客が訪れる長瀬は埼玉を代表する景勝地の一つ。その中心を流れる荒川、長瀬エリアでは穏かな流れの「瀬」が約 1km の長い区間にわたっていることから「長瀬」の名がついたという。「岩畳」「宝登山」「ライン下り」等を中心に、春は桜、夏は川遊び、秋は紅葉、冬はロウバイに梅など、四季折々の花が咲き、訪れる人の心を和ませてくれる。私にとっては懐かしい「小学校時代の遠足の聖地」である。

OB会みんなで、四季折々の長瀬散策はいかがでしょうか。

(写真は 2022 年 11 月撮影・岡村和夫)

新入会員紹介

よろしくお願ひします



稲村 順子さん

北部に近いところで、楽しい企画に参加します。
退職時の職場は行田協立診療所です。

手島 敦子さん

全県は参加できませんが、北部の
楽しい企画には参加したいと思います。
退職時の職場は行田協立診療所です。

行田地域で始めた「エコクラフト
バック作り」の参加者から入会者
を迎えました。 栗原和子



私の近況・地域の様子です



これからが 栗ひろいの最盛期

千野 久子

8月31日はスーパームーン、大きな月を眺めながら9月29日の「中秋の名月」を楽しみにしていました。しかし、満月は雲に隠れ見ることが出来ませんでした。前日の月は 関越自動車道が通る山のあいだから大きな姿を現し見事でした。

50数年前 小川町の空は 星がいっぱい きれいな夜空に感動した事を思い出しました。今年の夏は連日猛暑のためか、栗のイガがなかなか開かず落ちてきません。昨日やっと夫と栗拾いが始まり、我が家は、これから が栗拾いの最盛期 です。😊

この暑い毎日ですが、夫は草刈りに一生懸命、雑草の中に真っ赤な彼岸花がきれいに咲いているのを見つけました。



3回の手術・入院生活から 考えたこと

水野 久子

3年前の一月、近所の信号機近くで5 cm程の段差に躓き転倒、右肩腱板を断裂してしまい手術を受けました。この時は6週間の入院生活となりました。ところが昨年、長年溜まった本をかたづけようと整理していたら、本が重かったのか再発手術、そして今年の2月、デイケアに行ったとき、スポーツ用マシンの操作が重く又再発、3カ月の自宅療養の後に入院・手術を受けました。



一度痛めた傷は完治はしても、再発しやすいのだと、自分の不注意を反省しているところです。

昨年までは高齢の夫も独りで暮らすことが出来たのですが、最近は歩行困難も進み何かあったらどうしようと思っていましたら、それに主治医が気づき、主人も入院してリハビリを受けるよう薦めてくださり、私も安心して入院生活を送ることが出来ました。主治医の暖かい配慮に感謝しているところです。右手は今も気遣いながらの毎日ですが、現在は週1回のリハビリに通っています。

高齢化社会が急速に進む最近は、「老老介護、認認介護」などの言葉も聞かれますが、これらは誰しものが当事者になりうる問題だと今更ながら感じています。

一人で抱え込まないために、仲間とのつながりを大事に、運動や食事・社会参加なども考え、利用できる制度・サービス・施設などを調べておくことなど、やることがたくさんありますね。

27℃ 虫の音が聞こえてきます

浦川 恵子

本当に暑い毎日ですね。

蔵王も現在27℃、それでも虫の音が聞こえてきます。朝の散歩も続け、変わりなく過ごしています。歩いていけるカフェ「そら」の自家製野菜たっぷりのランチ、ハーブティーをいただきながらオーナーとおしゃべりして気分転換をしてきました ♪♪

8月の満月、今夜は残念ですが曇りです。6月5日、こけし橋から見たストロベリームーンの写真を送ります。



全労連非正規交流集会 「横須賀の軍港めぐり」に参加

清宮 浩



私は労働組合の専従役員をまだやっています。

6月に全労連の非正規ではたらく仲間の交流集会に参加し、分科会で横須賀の軍港巡りの観光船に乗りました。ガイド役の人が、停泊中の自衛隊や米軍の艦船について、言葉巧みに艦船の任務などを説明していました。日曜という事もあり、大変盛況で200人以上の参加者がガイドの話中にも写真撮影に興じていました。小一時間ほどの周遊で、1日5~6回運航しているようです。民間会社の運営ですが、ある意味自衛隊の日常的な広報活動になっており、当日は同時に自衛隊の企画として、潜水艦などの艦船に乗船できる企画も開催されていて、多くの参加者の姿が見られました。そこには、戦争のための兵器という批判的な観点はなく、大いに疑問を感じた次第です。



「謀殺 下山事件」を見て

仲村 敬子

映文協からのお知らせで映画「謀殺 下山事件」を見に行きました。8月の猛暑のなか、埼玉会館小ホールはぎっしりの満席でした。

下山事件は昭和24年7月、国鉄初代総裁下山氏が線路上で轢死体で発見された事件です。つづいて三鷹事件、松川事件がおき、労働組合運動は大打撃をうけ、革新陣営全体の運動も抑え込まれ、国鉄は9万5千人の人員整理をすることができたと解説にありました。巨大な金と権力がなんでもありの謀略で歴史の流れを変えるようすが描かれていました。しかし、何故か？と疑問に思う人、追求する人びと、闘う人びとが必ず現れます。

むかし、私が協同病院の総務課にいた頃、徳野事務長は「世の中、赤旗新聞と日経新聞で廻っている、わーはっ、はっ」と言っていました。私はそういうことに関心がなく、「世の中、手塚治虫とキネマ旬報だ」と思っていました。退職して少しは世間も広がり、波にも揉まれて、この映画を見た日、「世の中、巨大な金と権力・謀略、それと闘う人びとで廻っている」と実感しました。名もない私たちであっても手を結んで闘う側に在るのだと思いました。

（「謀殺 下山事件」 1981年製作、監督熊井啓、主演仲代達矢、山本圭）

全国医師ユニオンの 手伝いをして 13 年になります

東田 伸夫



全国医師ユニオンの事務手伝いをして 13 年になります。
エッセンシャルワーカーの仕事が本当にひどい扱いを受けているなーと思わされています。5 年ごとに実施する医師実態調査では、「健康である」という医師は前回より 10% も減り 50% をきりました。若い医師は 14% も「死や自殺を日常的に考えている」これが実態です。そんな中、26 歳の 3 年目医師が自殺しました。1 カ月の時間外労働が 200 時間を超え、3 か月間 1 日も休みなし。来年から医師の働き方改革が実施されますが、「医局にいる時間やカルテ記載は時間外労働と認めない」「宿日直では、外来を何人診ても勤務間インターバルの休息中扱い」など見かけだけ減らす対応が広がっています。医療や教育、福祉にお金をかけない政府によって、しわ寄せが働く人や住民に來ています。

娘も教員ですが、体調をくずし休職中です。誰もがやりがい大切にでき、余裕が持てる社会を早く作りたいものです。

「梅原滝松ちゃん」と 「女中頭」

梅原 恭子

秋が来ると喜寿。思えば遠くに来たもんだ ♪♪ と歌っています。

今年は、故郷青森も 35 度と信じられない暑さで姉や妹も悲鳴をあげています。

そんな中、唯一張り切っているのが、今年我が家の一員となった雄猫のターキーこと滝松。息子が海外遠征の再開に伴い面倒みられなくなり我が家へ。決まって朝 4 時にはミャーミャーと目覚まし猫と化す。歩く後ろからきりなく落ちてくる薄茶の毛、コロコロをいつも携帯していそいそと収集する私はさしずめ古参の女中頭(但し他の女中は居ない)。何故か夫を一応親分と見立てているらしく、会話らしきものをしたり、



シッポをまきつけたりして甘えている。臭い便と尿シートの交換は女中頭の仕事。ペットクリニックのデビューも抜かりなく済ませ、梅原滝松ちゃんという診察券も取得済み。ペットを飼うとは先ずマメさ、研究熱心さ、経済的、観察力、キレイ好き、忍耐力が求められるのだと日々実感中。

日本語ボランティアも一年が過ぎボランティアも 5 名から 10 名へ。学習者も東南アジアから中東のシリア、チュニジアや南米のボリビアと世界地図を広げること

も増えた。ベトナムのアオザイと浴衣を交換して着てみての例会も先日実現。
女中頭もサークル代表も奥が深い仕事なんだな～。

「秩父生協病院 元職員のつどい」を開催

深田 澄子

7年前に開催した「女子会」から しばらく経つので、みんなどうしているかな？
と思い 7月2日、秩父在住の方 60人に呼びかけ「元職員のつどい」を開催しまし
た。当日は 28人が参加、「あれから どうした・・・」をテーマにひと言ずつ。中に
は 30年・40年ぶりという方もいたり、「あの人は誰？」などの言葉も聞かれまし
たが、そこは一緒に働いた仲間、すぐに打ちとけ話がはずみました。

生協をやめてから市内あちこちを経験したけれど、やっぱり生協がよかったとい
う感想が多かったです。12時から2時まで、昼食を取りな
がらの楽しいひと時、元気になりました。



「また元気で会おうね」「次も計画してね」などの言葉で
別れ、ホッと一息ついた途端！ 「しまった・・・」
写真を撮るのを忘れ大失敗。次回の教訓にします。

埼玉平和美術展は 出品して楽し、見に来て楽し！

佐藤 優子

今年度の埼玉平和美術展は 8月10日～14日、北浦和の県立近代美術館
に 130名から 300点の作品が寄せられ開催された。私は退職後から始めた
油絵を毎年出展している。今年は図々しくも平和美術会の会員にもなった。
絵を始めた動機は母を描いてみたいであった。3枚描いたうち、「愛犬と母」
の絵は、本年5月に亡くな
った母の仏壇の横に飾られ
ている。平和美術展にはO
B会の会員複数名（今年は
11名）が、絵画・書・写
真等に出展している。展示
室をまわると懐かしい名前
に出会います。私は梅原恭
子さんに案内を出し見に来ていただいている。その日程に合わせて仲間が集



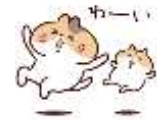
まる。コロナ制限もゆるくなり、今年は鑑賞＋ランチを計画し 7 人（富田夫妻・大野・野口・海老塚・梅原・佐藤）でおしゃべりした。西部の岡部さんとも年 1 回顔合わせ、お互いの絵でおしゃべりする。埼玉平和美術展は無審査で誰でもが出展できる。最終日には合評会もあり刺激を受けることも出来る。あなたも出展してみませんか？



今年もきれいに咲きました

小田 政満

2021 年、OB 会 30 周年記念にいただいた百日草の種。あれから 3 年、庭のすみに毎年きれいに咲いています。今年は花数も多く、私の愛情が届いているのではと喜んでいます。皆さんの家ではいかがですか？



浦診 OB 会 4 年ぶりに総会

小嶋 美智子

9 月 16 日（土）第 17 回浦診 OB 会総会を 4 年ぶりに開催。19 名参加、東浦和・高砂で行いました。

この間、3 名の方（高橋・大嶋・榎本さん）が鬼籍に入られました。近況報告は全員古希を迎えた仲間たち、この 4 年間まだ現役で働いている人、腰椎脊柱管狭窄症や白内障の手術をした



人、圧迫骨折、带状疱疹、自分や家族の癌などなど。それでもこんなに元気な集まりが出来て良かった！というのが正直な感想です。

松本光正先生が 8 月に脳梗塞で倒れ、現在は自宅でリハビリ中との話がありました。また、この間自宅療養中の見目先生が、先日誤嚥性肺炎で救急車で川越方面の病院に搬送されたが、協同病院に転院意向だとの話もありました。二人の先生は浦和民主診療所時代にみんなと一緒に頑張った先生だけにみんな驚き心配の声が寄せられました。一日も早く元気になってくれることを心から願っています。

地域包括ケア時代と ふれあい生協病院

清水 恵子

人生 100 年時代、高齢期を生きる私たちは、一日でも長く住み慣れたまちで、自立して暮らしていきたいと願っています。

OB会では第3回幹事会（7月 21 日）終了後に、地域包括ケアの拠点となる新しいふれあい生協病院を見学しました。説明を聞きながら、その昔、埼玉民医連は保険診療上も制度のなかった半世紀以上前から、各事業所が地域で訪問診療を行うなど地域の要望にこたえてきた事を思い浮かべました。

2000 年、介護保険の開始と共に訪問看護や訪問介護・リハビリ、通所系サービス等、在宅医療支援のサービスが拡大し、そして今、在宅での暮らしを支える地域包括ケアの拠点として「ふれあい生協病院」。このオープンに大きな期待です。

ふれあい生協病院は、埼玉協同病院の外来診療の大半を移行し、健康増進センターも移し、地域包括ケア病棟、在宅医療支援、リハビリの機能を持ちます。埼玉協同病院、老健みぬま、ケアセンターきょうどうと連携し、地域住民の要望に応えた病院の役割をと願っています。さらに、この二つの病院は「地域の医療要求に応えられる医師や医療者を育てる」という医療生協さいたまの理念の下、全県の事業所を担う職員の育成など大きな役割もあります。新しい病院の在り方や私達の願いも含めて紹介します。

《地域包括ケア病棟とは》

急性期治療が終了し直ぐに在宅や施設に戻るには不安のある患者さんや、在宅や施設から入院した患者さんが在宅復帰に向けて診療・看護ケア・リハビリを行うことを目的としています。54 床の病床がありますが、

入院期間は 60 日を限度とし、患者さんの状態や在宅サービスが整い次第退院となります。地域包括ケア病棟の入院対象は、急性期の

治療後、在宅への退院・復帰を目指したりハビリが必要な方、病状の経過観察が必要な方。メディカルショートステイが必要な方です。

《在宅医療支援》

24 時間 365 日往診可能な体制と訪問看護を行い、在宅療養を支援します。



医療生協さいたまの病院・診療所、老人保健施設、介護事業所、地域の事業所と連携し、在宅での生活を支える病院をめざしています。

《リハビリテーション》

入院直後から患者さんの病状に合わせた早期リハビリ、患者さんが出来るだけ万全な状態になって地域で生活するためのリハビリです。

新たな事業として訪問リハビリを開始しました。自宅での療養環境に適應できるよう、生活環境を整えるお手伝いをします。

8月14日オープンした地域包括ケアの拠点 ふれあい生協病院が、新しく改築工事の進む埼玉協同病院、老人保健施設みぬま、ケアセンターきょうどうと連携し、医療と介護が一体化した役割を益々果たすことを願っています。

私の周囲での出来事から

富田 孝博

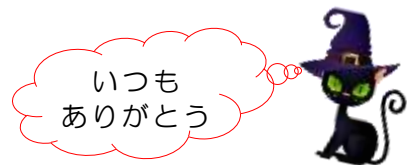
すでに新聞・テレビ等でご存知と思いますが、自民党埼玉県議団提出（公明党賛同）の県虐待禁止条例改正案が、6日の福祉保健医療委員会で自民・公明の賛成で可決したものの、わずか4日後には撤回、10月13日県議会で正式に取り下げました。



改正案は小学3年生以下の子どもを自宅に残したまま外出する事を禁じ、小学4～6年生は努力義務と規定、県民には通報義務を課すものでした。それに対して「とんでもない内容だ!!」「子どもの留守番は放置で虐待?」「全国で2番目に多い待機児童、学童保育にも入れない」等々怒りの声が一気に広がり、さいたま市PTA協議会は反対意見書を提出、オンラインの反対署名は10万筆超が集まり、新婦人が呼びかけた県庁前集会ではリレートーク中、改正案取り下げの速報が入り大きな歓声と拍手がわき起こるなど。（連日の駅前行動や集会を写真にするにも、マスコミは新婦人や共産党の旗が多く報道できなかつたとか?・・・）。反対の声は全国的にも一気に広がり、今回はひとまず阻止できましたが、埼玉県は子どもに対する支援体制が全国でも最低水準。国と自治体と地域社会が児童養護者を全力で支援し、地域ネットワークで包み込んでこそ虐待は解消へ向かうのではないかと思います。県民や全国に広がった反対の世論が追い詰めた結果だと思います。有権者である私たちが、住民の立場に立つ政治を求めていくことが何より大切です。

OB会だより

感 想 意 見



♪ 島田 喜久江

OB会だより 155号 ありがとうございます。
表紙を見た途端「うわアー すごい！ 青い空と白い雲のコントラスト 吸い込まれそう・・・」素敵と思いきや、山と緑に囲まれた田舎暮らしの幸せを感じました。OB会だより表紙の「各地の四季」、この写真を見ることが楽しみであり、心がほっこりします。次号はどこですか？楽しみです。

♪ 前田 文代

暑い日が続きます。クーラー、扇風機をかけて温度を高くせずにとでなるべく電気代を下げようと……。(苦心がどうですか?)

埼玉地域行動に十分に注意しながら参加、知り合いの顔を探して話に花が咲く様子がわかりました。歌声、エコクラフトバック、上野めぐり散歩など多くの方々の写真や投稿を見てとてもうれしかったです。伊藤さんのお元気な様子もわかり久しぶりで。内から踏み出した会員の方々に励まされています。(前田文代)

♪ 水野岩子

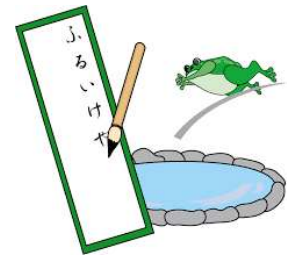
あつーいですねえ。OB会だより ありがとう。
いつも通り一気に読み、また後からゆっくり読みます。
今月の表紙 信州の雄大な景色 素敵ですね。あのひろーい大きな空から、私の所にも涼しい風が吹いてくるようです。山と緑を楽しみながらの信州、私も一度行きたいなあと思いながら読みました。

あとかき

長いマスク生活に続き 今年の夏は連日の猛暑、暑かったですねえ。この暑さでOB会活動もご多分に漏れず「どこにも行けない。何もできない」。その結果、OB会だよりの記事がない！とあわてたものの……。でも、でも、大丈夫！ 各地域で、そして会員それぞれが、いろいろ工夫し、努力している姿が次々に。この様子をお知らせしたいと思った 156号です。
爽やかな風も吹き始めたこの頃、次号もにぎやかにお願いしまーす。(よ)



OB会のひろば



川 柳

短 歌

栗原 和子
梅雨明けに青空の下梅を干す
暑いけどコオロギ鳴いて秋を待つ
稲穂垂れどうする岸田温暖化
富田 孝博
正しくは汚染処理水なぜ言えぬ
ガン発見たたかう相手追加され

「懐古の歌」 藤田 悦子
朝産みし一つの卵を順々に
ご飯にかけし頃もあり
ギョツギョツと片手で握りし塩むすび
母の手から娘の口へ
遠足に母の握った塩むすび
頬張る味は未だ忘れず

五 行 歌

俳 句

巻田 幸子
長き良き
友に恵まれて
自分らしく
生きられる
今がある

秋草 宮谷 忠
マスクットぶつんと弾け戦など
うとうとと電車の軋み大花野
秋草の色とりどりのひとりぼち
田中 千エ子
からすうり
烏瓜核の墓場になる前に
ざくろ
石榴の実爆ぜて着地の双葉町
残る菊銀河鉄道お一人様
石丸 乾二
彼岸過ぎやつと赤く咲く曼殊沙華

私の一枚

お家康

ひびすゐる家康



田添紀江

家康

秀吉

英松城



大輪の花「フヨウ」 小田政満



青空に彼岸花 石丸乾二



マトリョーシカ人形 広瀬 久子



きれい!! 渋谷菊男



ひととき 岡部和子



新潟小地谷・池ヶ原 岡村和夫

ホームページをご覧ください。毎月更新しています

埼玉民医連退職者の会 検索

ホームページはこちらからも見られます。



埼玉民医連退職者の会 〒333-1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内